

長井市地震ハザードマップ

地域の危険度マップ

ー長井盆地西縁断層帯ー

○地域の危険度マップとは？

発生の恐れがある地震によって引き起こされる、建物の被害状況（倒壊率）の分布を相対的に地図上に示したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を『危険度』として表しています。地震の発生の仕方によっては、建物被害の状況はこれより大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

○この地域の危険度マップは、地域が揺れやすさマップ（長井盆地西縁断層帯）において示された強さ（震度）の揺れとなった場合に、どの程度の建物被害（全壊）が生じるかを50メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものです。なお、全壊相当の被害を受けると想定される建物の割合を「危険度」としています。

○揺れやすい地域や、被害を受けやすい昭和56年以前に建てられた木造建物の多い地域は、相対的に危険度が高くなる傾向があります。そのため危険度が高い地域であっても全ての建物が被害を受けるというわけではありません。

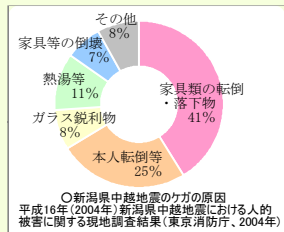
○避難所一覧		
避難所名	住所	避難対象地区
1 長井高等学校体育館	四ツ谷二丁目5-1	館町南/館町北/四ツ谷/あら町/神明町
2 長井工業高等学校体育館	幸町9-17	十日町/幸町/横町/館町
3 長井小学校	ままの上5-2	東町/ままの上/本町南/本町北/片田町/屋城町
4 観光交流センター（道の駅）	東町2-50	/舟場/栄町/大町
5 ケミコン山形（株）長井工場体育館	幸町1-1	高野町/新町/清水町/中道
6 慈光園	小出3453	金井神
7 長井北中学校	成田2883	野川/幸町の一部/萩/あけぼの町/館/芳野/上宿/三島/久保町/中央/南東/西組/谷地/中の目/高堰/福田/大沖
8 致勢小学校	五十川1091	北東/新町/本宿/中宿/下宿/西館/八反田/蛇塚/酒町/宮内
9 致勢コミュニティセンター	五十川2316	袋/岡嵐原
10 東五十川公民館	五十川3956-3	森上/森中/森入/穴塚/柏林/生僧
11 白兎農業センター	白兎1551	白兎西/白兎中/白兎東
12 寺泉コミュニティセンター	寺泉2837	五泉所/平田/上野/山岸
13 上郷地区構造改善センター	寺泉3738	上郷
14 川原沢集落センター	川原沢1631-1	川南/川中/川北
15 西根小学校	草間375	中里/草西/頼館/新町/仁府
16 西根コミュニティセンター	草間322	岡/平/高野/唐梅/御釜/蔵京/里巻
17 勤進代中公民館	勤進代1438-2	宮原/川窪/大屋敷/館野/谷地寺/窪/石塚/浦原/北向/長渡/波華/波化
18 置賜生涯学習プラザ	丸野本1235-1	木口/芳緒/館/伊勢堂/宮地
19 平野コミュニティセンター	丸野本3174-1	子坂
20 平野小学校	丸野本3118	桜町/中里/太久保/善並
21 千坂公民館	平山2757-28	山の神/上/上の台/館久保/日の出町
22 平野児童センター	丸野本3175	芦沢西/芦沢東
23 伊佐沢コミュニティセンター	上伊佐沢7312	中伊佐沢北/中伊佐沢南/下伊佐沢
24 伊佐沢小学校	上伊佐沢2027	大石
25 伊佐沢児童センター	中伊佐沢1256-20	向/水口/河井/下歌丸/町/新田一/新田二/観道/今泉上/今泉中/今泉下/今泉緑町一/今泉緑町二
26 向山荘	中伊佐沢1256-8	
27 山形工科大学	上伊佐沢6958-1	
28 豊田小学校	歌丸976	
29 豊田児童センター	歌丸2475	
30 豊田コミュニティセンター	時座254	
31 長井南中学校	泉1819-1	

○家具などの地震対策も重要です

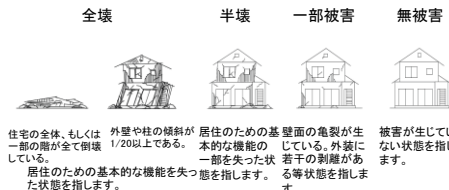
■家具や家電製品の地震対策
住宅の全壊を免れても、ガラスの飛散やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が飛んでくるといった、日常の生活からは想像できない事態によって、思わぬケガをしたり、避難が遅れて火災に巻き込まれたりすることがあります。新潟県中越地震においても負傷者の約5割はガラスの飛散や家具類の転倒・落下によるケガが原因といわれています。

家具や家電製品の地震対策としては、次のようなものが考えられます

- ◆ 固定器具を用いて家具や家電製品を固定する。
- ◆ 食器等の収納物が飛散することのないように、扉の開閉を防ぐ器具を取り付ける。
- ◆ 睡眠や食事をする場所の近くに、家具や家電製品をなるべく置かない。
- ◆ いざというときの避難経路の近くに、家具や家電製品をなるべく置かない。
- ◆ 大きい家具は滑りやすい絨毯や畳の上には置かない。
- ◆ 家具の中では、下に重いもの、上に軽いものを置く。
- ◆ 造り付けの収納やウォークインクローゼットの設置等の住宅のリフォームを行う。



全壊とは？
「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指します。具体的には平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。



地域の危険度マップの凡例

建物全壊棟

- 10.0%以上
- 7.0~10.0%
- 5.0~7.0%
- 3.0~5.0%

避難所

- 指定緊急避難場所

木造住宅については、手軽に自分でできる「誰でもできるわが家の耐震診断」が財団法人日本建築防災協会から提供されていますので、一度使われてみてはいかがでしょうか。
(<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/wagayare/wagayare.pdf>)

■マンションの耐震診断

阪神・淡路大震災では、被災したマンションの修理・建て替えを巡る住民相互の合意形成がスムーズに行えないために、住民同士での裁判となるケースがありました。良好な住環境を維持するためにも、早めに耐震診断・耐震補修に取り組むことが必要と考えられます。

■住宅の耐震診断や耐震改修を行うには

木造住宅の耐震化の平均的な費用は約160万円(財団法人建設経済研究所推計)といわれています。実際の施工費用とは大きく異なる場合がありますので、耐震改修を行うためには、信頼できる専門家による耐震診断と設計が必要です。専門家による住宅の耐震診断や耐震改修についてのお問合せは、長井市役所建設課までお願いします。

<お問い合わせ先>

長井市建設課

TEL0238-87-0863 FAX0238-84-5969

E-mail: kensetsu@city.nagai.yamagata.jp

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平21業技、第983号)」